

シルバー やまがた

第118号 平成27年4月1日発行 (公社)山形市シルバー人材センター広報部会

正会員数 959名 賛助会員 46個人・51団体(3月末現在)



馬見ヶ崎河畔の桜並木 (広報部撮影)

—— 内容紹介 ——

- P2 平成二十七年度を迎えて
- P3 会員の状況・就業状況について
職班・職群グループリーダーと
担当理事との意見交換会
- P4 女性部会だより
平成二十六年度
タオル寄付者・バザー寄付者名簿

- P5 わが街自慢
- P6～7 会員のひろば
- P8 人あり・技あり・心あり
作業所の移転について
- P9 就業会員を訪ねて
新入会員紹介
- P10 事務局だより

ホームページでもご覧いただけます。

山形市シルバー人材センター

検索



平成二十七年を迎えて

理事長 長瀬 洋 男

新中期事業計画の実施に向けて

平成二十六年度は、平成二十一年に策定された「中期事業計画」の最終年度にあたることから、新たな計画の策定に向けて、『新中期事業計画策定委員会』において作業を進めてまいりました。今年度は、この新たな計画に基づいて、基本理念である「共働・共助」を堅持しながら、一層の機能強化と効率的な事業運営を推進するとともに、関係各位のご支援・ご協力をいただきながら、公益社団法人として高齢者並びに地域社会の期待に応えられるよう、シルバー事業の推進に取り組んでまいります。

当センターの課題

現在、当シルバー人材センターの課題として、①会員数の停滞、②「めんこいひろば」の経営改善、③派遣事業等の新規受注の拡大があります。

会員の拡大については、六十五歳を迎えた「団塊の世代」が労働市場

から本格的な引退過程に入っていることから、就業機会の確保及び職域の拡大を図りながら会員の拡大につなげることが重要になっています。

また、平成十九年から行っている認可外の一時預かり保育「めんこいひろば」は、国の補助金がなくなつてから、山形市の単独補助金を充当しながら運営をしていますが、保育士の負担軽減や安全対策のため、一般会計からの持ち出しが増えるなど厳しい経営状態が続いています。このため利用料金や開設時間の見直し等を行い、経営改善に取り組んでまいります。

シルバー派遣事業の拡大を

全国シルバー人材センター事業協会の方針として事業拡大をめざしているシルバー派遣事業は、高齢者者の多様なニーズに応え、就業を確保するための有効な手段であります。

また、請負に比べても、発注者の指揮命令の下での就業が可能であるため、受注できる仕事幅広く、地方自治体や企業のニーズにより応える

ことができるため、また、新たな自主財源として活用できることから積極的に就業拡大を図る必要があります。

また、今後の社会的要因として、介護保険制度の改革により各自治体が行う「生活支援・介護予防事業」の受け皿として、シルバー人材センターが受託できるための準備が必要となつてきます。当センターにおいても、要支援者等の在宅高齢者の生活支援事業の増加が予想されることから、県連合会及び山形市、関係機関と連携をとりながら新たな事業参入の検討を行います。

センターを取り巻く厳しい財政状況

平成二十七年度から、国からの補助金の交付条件が大きく変わります。シルバー人材センターに対するこれまでの人件費と運営費に対する補助金を見直し、事業に対する補助金に重点が置かれます。請負・委託による就業機会の拡大を図る基盤拡大事業も減額され、新たに派遣を主とした高齢者活用・現役世代サポート事業を中心に補助金体系が組み込まれました。

センターの健全な運営を維持するために、新規就業先の開拓や入会会員の増を目指すことは喫緊の課題で

あり、会員の皆さんと役員が一体となつて取り組んでいかなければなりません。

新規就業開拓に成果

過去二年間、増加傾向にあった会員数ですが、残念ながら平成二十六年度は減少に転じました。

また、地方経済の好転が期待できない状況から大型量販店や大型電気店からの派遣受注がなくなるなど、依然として厳しい情勢が続いております。

一方で、受注実績は平成二十五年度に続き、平成二十六年当初予算と比較しても僅かですが増加傾向にあります。昨年度は就業機会創出員を配置し、計画的・精力的に受注開拓に向けての企業訪問を行い、成果を上げることができました。今後も引き続き、新規就業開拓に取り組んでまいります。

今年度は役員の改選期にあたります。公益社団法人としての役員の責任は大きく、役員はもちろんのこと職員も法人運営にふさわしい知識と能力が求められます。

新たな役員体制のもと、市民に信頼され満足されるサービスの提供を通じ、効率的な事業運営に取り組んでまいります。

会員の状況・就業状況について

(平成26年9月～平成27年2月末まで)

①会員の状況

月別	入会者数	退会者数	当月末 会員数	備考
26.8.31			900	8月末会員数
9月	7 (男6、女1)	2 (男2、女0)	905	
10月	10 (男7、女3)	1 (男1、女0)	914	
11月	11 (男6、女5)	2 (男2、女0)	923	
12月	8 (男5、女3)	5 (男4、女1)	926	
1月	11 (男9、女2)	0	937	
2月	14 (男9、女5)	0	951	
合計	119 (男86、女33)	148 (男108、女40)	951	男：732 女：219

②就業状況

区分	職群	就業延人数	備考
一般受注	技術群	114	経理事務、パソコン作業など
	技能群	20,343	襖・障子張り、剪定 など
	事務整理群	2,511	賞状筆耕、統計事務 など
	管理群	20,390	駐車場管理、施設管理 など
	折衝外交群	62	量販店での作業 など
	一般作業群	16,116	除草、草刈り、清掃 など
	サービス群	1,316	病院での洗濯、らくらく応援隊など
	計	60,852	
独自事業	自転車再生	90	
	家具リサイクル	3	
	即売会	23	
	計	116	
子育て支援	子育て支援	548	
合計		61,516	

※116号掲載の8月末会員数と今号の人数に差異が生じていますが、これは集計方法の変更によるものです。

職班・職群グループリーダーと 担当理事との意見交換会を実施

事業部会長 鈴木 健一

昨年十二月、職班・職群グループリーダーと担当理事との意見交換会を開催しました。この意見交換会は、各グループの実状や課題等を話し合い、円滑な就業を行うため平成二十五年から開催しています。

二回目となる今回は、九十三の職班・職群グループを四班に分け、三日間にわたって行いました。主な意見等は次のとおりです。

技術・技能・事務整理群(襖・障子班、剪定班、技能班、筆耕班)

① 四人で仕事をしているが、特定の会員にだけ仕事の依頼があるのはどうかと思う。② 剪定班の人数が二人増えたが、受託件数が減っている。ハガキによる案内があると思っている人もいる。③ ふたつの職場を三人のローテーションで就業していたが、それぞれ二人に固定された。お互いの仕事の内容がわからず、休みの交替も頼めなくなっている。

管理群(施設管理班、市体育施設管理班)

① 急な休みなどがあるため人数を増やしたところ、もっと仕事が増えたいという声もあるがどうか。② 体調不良などで急に休みの必要なきがある。これを加味した人員配置がいい

と思う。③ 就業時の説明を勝手に解釈し、現場のルールに従わない人がいる。

管理群(駐車場管理班)

① 新たに就業する場合の説明と現場の仕事に食い違いがある。現場のマニュアルに従ってもらいたいと思う。② 個人差もあるが、新しい就業会員は仕事を覚えるのに六カ月もかかるので大変だ。③ ふたつの職場を一カ月交代で就業しているが、なかなか仕事を覚えられない。対応できる人を配置してほしい。

折衝外交・一般作業・サービス群(除草・草刈班、屋内作業班、福祉作業班など)

① 就業内容について相談しようとしても仕事があるといって出てこない人がいる。他の仕事をしてもらいたいのか。② これまでお客様へのあいさつもなかったが、三カ月に一回のミーティングで改善されている。

各グループからいろんな意見等がありました。就業にあたってはリーダーを中心に相談し、円滑にいくよう対応をお願いします。また、今後の課題等についてはセンターの事業運営に反映させてまいります。

出羽・明治地区

庄司栄三郎

出羽地区は、山形市の北部に位置し、この地区の中央あたりに「千手観音堂」があります。地区の人々は、俗称「千手堂のお観音さま」といい最上三十三観音の札所番付は、第三番になっております。

千手観音堂は、室町時代の建築様式の「方形造り」で御本尊は、千手観音菩薩で重要文化財（国指定）になっております。

また寺には、絵馬が数多く奉納されており、永

年六年（一五六二）の絵馬をはじめ、ムカサリ絵馬・針子・巡礼供養・和算・俳諧絵馬などがあります。絵馬は、人間が神仏に願いを込めて差し上げた手紙であり信仰の本質にふれた貴重な文化財とすることができま



方形造りの堂宇
室町時代（500~600年前）の建築様式に復元された堂宇（観音堂）

境内には鐘つき堂もあり、毎朝早くから参拝の人々が鐘をつきその音が四方八方に聞こえます。

初詣には、近郷近在はもとより地区外からも老若男女が多数の参拝者で賑わい、三十三観音の巡礼者も絶えることはありません。

尚、現寺号「守国山吉祥院」俗称「千手堂の観音さま」。

天台宗。



わが街自慢

パートII



第一地区

菅原 清一

第一地区は、昔のイメージがどんどん消えていき、新しい街へと様変わりしてきました。

街への人集めをどうしたらよいか、活性化するにはどんな施策を取り入れたら良いのかなど、有識者を集めて検討されてきました。

道路の整備や商店街の模様替えも行っておりますが、古い家はどんどん取り壊され、マンションが至る所に建設されました。取り壊された家の跡地は駐車場に早変わりし、すぐ満車となり空洞化が顕著になっております。

写真にはマンションが数棟写っておりますが、どのマンションからも眺めは良いよう



です。私の居住している所からは、東に蔵王連峰、南に吾妻連峰、西には月山、葉山、朝日連峰、北に済生館病院が眺望され、さらに夏の花火大会、春は霞城公園のサクラ、秋には紅葉等観賞でき、最高の居住環境です。

勉強になります



第二地区
土屋 紘治

私は昨年十二月、農協直売所の開店前の清掃の仕事を紹介されました。

最初は、「自分の部屋の掃除も口々にしない奴が大丈夫かい。」と大いに不安でした。おまけに、二、三日作業（床を箒で掃いてモップで拭く）をしただけで腰が痛くなり、「こりや、ムリ。早く辞めよう。」と思

いました。

しかし、少しずつ仕事に慣れ、腰痛も姿勢の工夫と腰痛体操の徹底で治ってくると、この仕事がだんだん楽しくなりました。生活のリズム（早寝早起き）ができたし、何よりも、早朝から野菜や果物等を搬入する農家の方々の様子を見たり、その会話を聞いていると、本当に勉強になるからです。

「農家は重労働だけど、良い仕事だなあ。六次産業化の未来は明るいぞ。」とつくづく思いました。得がたい機会を下さったシルバーセンターの皆様には、「感謝」です。

サル軍団現る



東沢地区
神保源太郎

昨年シルバー人材センターに入会し、四月から今の仕事に従事してい

ます。定年後の空白期間があり、不安も多少ありましたが、諸先輩方のご指導で何とか務める事ができ、感謝しているところです。

日頃は、仕事の合間に少しばかりの田んぼと家内がやっている家庭菜園の手伝いをしています。

しかし近頃は、作物の収穫時期になると有害鳥獣の被害に遭い、作る意欲も喪失気味になっています。

また、この頃は屋敷裏に二十数匹くらいのサルの群れが現れるようになり、不気味で人間に危害を与えたりしないかと不安になっています。野生動物との共生は大変ですが、

サル対策として次の事を心がけ、経過を観察したいと思います。

- ① 収穫後の作物は畑に放置しない。
- ② 家周辺に餌になる物を置かない。
- ③ 周辺の草刈等で、見通しの良い空間を作る。

サルを見つけたら、すぐに追い払

いできるよう、撃退用花火等を準備したところです。皆さんのところはどんな対策をしていますか。

釣りとの出会い



金井地区
木村悦太郎

今から二十数年前、営業でユーザー訪問をしていた時代に、客との付き合いで、ゴルフとか釣りの誘いを受けることがありました。たまたま今の時期ですと寒河江ダムで、大物の鯉が釣れると云う事で、行くことにしました。何しろ大鯉釣りは、

初体験ですので、リール・竿と釣り道具一式を準備して、手ほどきを受けながら釣り始めたところ二時間くらい過ぎたところに、私の竿にもアタリが来まして初めて釣る体験をしました。

竿ごと持っていられるような強い



多員の健康・趣味



橋山地区
折笠 一成

ボウリング&健康

六十歳以上対象の「健康ボウリング教室」に通い始めました。

週一回、計六回の開催です。教室

引きと、手ごたえが忘れられなくなり、「ハマリ」しました。その後、釣り情報を聞くたびに、最上川本流・釜房ダム・その他湖沼を回って、釣りを楽しみました。ちなみに大鯉は五十センチ以上一メートル前後の巨鯉も居るそうです。私にとって釣りはストレス解消に合っていると思います。

最近では、近場の管理釣り場の沼で、へら鮒釣りを楽しんでいます。これからも健康維持のため、シルバーの仕事と釣りを続けたいと思います。

は、健康についてとボウリングの基本の講義を受け、その後、ストレッチをし、フリー投球&レッスンで一回二時間です。始めは、少し筋肉痛が残りましたが、回を重ねると感じなくなりました。

生活習慣病の治療・予防法としても注目を集めるのが、運動療法であり、それに適しているのが有酸素運動の代表であるウォーキングやボウリングとのこと。また最近、糖尿病も運動不足が一因と考えられるようになったとのこと。即ち、ボウリングを楽しむことが、適度な運動である

り、継続的に行うことにより、「筋肉や骨が強く、元気に！血液の循環が良くなる！そして病気を改善・予防！」に繋がります。健康寿命を伸ばす。ボウリングは、奥が深い。技術アップと健康促進に頑張ろう。

た。また自宅で丹精に育てられた花もお持ちいただき、朝畑から収穫したおいしい野菜をごちそうにもなりました。皆さまのご協力でこれまで営業させていただき、心から感謝しています。ありがとうございます。

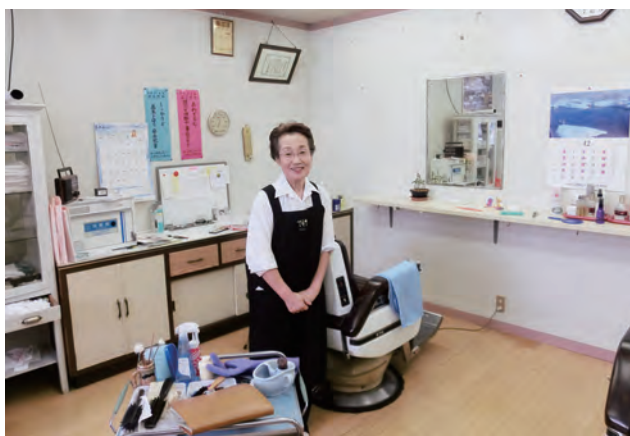
感謝



鈴川二地区
小林 桂子

双月作業所が移転することになり、昭和五十九年に開店した理容室を閉店させていただきました。

不便なところまで来ていただいたお客様に、大変申し訳なく思っています。現役時代に培ってきた多様な知識と経験のお話。店内をカメラ愛好会の方々に四季折々の風景で彩っていただきました



私は仕事を辞めても会員として何かお役に立てるよう努力したいと思っています。

シルバーに

人あり 技あり 心あり

より良い地域社会を

目指して



栗野 完雄

南沼原地区

町内の活性化のため夫婦で力を入れて... 栗野さんを訪ねてお話を伺いました。

十数年前、霞城セントラルの二階の山形市国際交流協会... 活動する奥さんを見て、自分も参加するようになり、夫婦での活動が始まりました。

協会の行事に参加する人は、中国・韓国・アメリカやその他の国の人たちです... 「国際料理」「クリスマス」「ハロウィン」など多彩なイベントを体験します。



(取材・広報部)

で、隣近所のつながりが薄くなりがち... 町内の人たちと話し合いを重ねながら、新しい行事が企画されました。

たとえば、「雪灯籠祭り」と似たもので、毎年二月に町内の道路の一角を借りて行う「スノーラタンまつり」があります... 町内だけでなく外からも見に来る程で大勢の人々に楽しさを与えています。

最近、息子夫婦とお孫さんとの同居で「今までよりも忙しくなってきた」と、お孫さんとのふれあいを喜んでいます... 住みよい地域づくりに貢献したいと意欲を見せています。

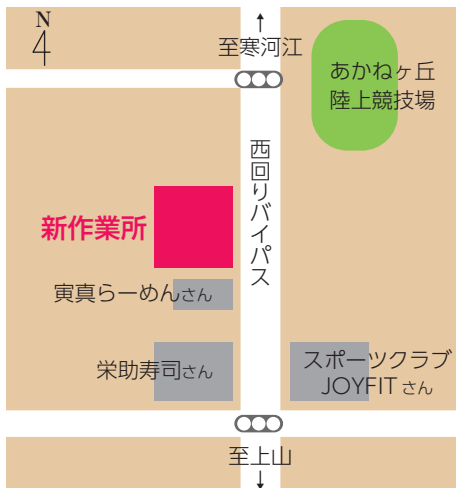
作業所が移転しました

先号(百十七号)でもお知らせしておりましたが、双月作業所建物の老朽化に伴い、あかねヶ丘にある元山形市消防署西出張所へ作業所が移転しました。

新しい作業所では、襖・障子の張り替えを行う襖班、自転車の再生を行う自転車班が作業を行うこととなります... 昨年未から作業班ごとに引越して作業を進めてきましたが、本格

的な作業開始となった二月十二日、作業所開きとして神事が行われました... 理事長・副理事長・事務局長とそれぞれの作業班の会員が参列し、新しい作業所での作業の安全を祈願しました。

なお、昭和五十九年から双月作業所で営業を続けてきた理容室は、新作業所のスペースの関係から移転を機に閉店することとなりました... 愛顧いただき、誠にありがとうございました。



就業会員を訪ねて

山川良男(山形市鈴川交流センター)

五十鈴地内の住宅地の一角に山形市鈴川交流センター(以下「交流センター」という)があります。もとは五十鈴公民館として

地域活動の拠点施設となっておりましたが、その移転後も引き続き地域の

人たちのふれあいの場、交流の場として利用に供されております。

平成十九年四月には当シルバー人材センター事業として「めんこいひろば」も開設され、乳幼児の一時預かりを通した子育て支援の一翼を担っているところでもあります。

交流センターでは三名の会員が就業していますが、山川さんから仕事の内容などについて説明をいただきました。

交流センターは、健康体操や詩吟・舞踊、カラオケ愛好会などのサークル活動、料理教室の開催と、地域の人たちに幅広く利用されております。その利用申込みの受付や備品の貸出し、

清掃、冬期間は除雪作業などの管理業務を行っております。

また「めんこいひろば」に関する照会への対応や利用登録の受付とパソコン入力による台帳の作成、利用料金の受け取りと管理、業務報告などの仕事があります。

平日の就業は午前九時から午後五時までですが、昨年四月から「めんこいひろば」の終了時間に合わせて午後六時までになっているとのこと。諸サークルの夜間利用もありますが、その時間帯

の点検・管理は警備会社に依頼しているそうです。

取材当日の「めんこいひろば」

では、定員いっぱいの子どものための一時預かりがありました。無心に遊ぶ子どもたちをみると、なんとも微笑ましくなります。山川さんは、ときに「じいじい」といわれることがあると相好をくずしておられました。



(取材・広報部)

新入会員紹介

(1月1日～3月31日まで)

第一地区	及川 明	滝山二地区	杉本 和恵
第二地区	高橋 緑	出羽・明治地区	佐藤 邦子
第四地区	渥美 健治	金井地区	遠藤 和子
第六地区	平尾てる子	原田 豊子	
第七地区	森谷 榮子	蔵王地区	佐藤 春治
第八地区	浅香 公博	小林 吉雄	
第十地区	瀬野健四郎	若林佳代子	
鈴川三地区	横沢 正	栗田 幸吉	
飯塚・樫沢地区	荒井美代子	南沼原地区	山科 和弥
東沢地区	山川 秀雄	三沢 実	
滝山一地区	渡辺 健	岡崎 良典	
		大沼 敬子	

事務局だより

山形市シルバー人材センター

山形市双葉町一丁目二番二号
電話(0)11-647-6647

URL: <http://www.sjc.ne.jp/yamagatahi/>
E-mail: yamagatahi@sjc.ne.jp

年度替えの

手続きについて

更新と退会手続きをお早めに!

年度替えになり、会員の更新手続きの時期です。世話役の方々に会費の集金をお願いしておりますので、会費の納入をお願いいたします。

また、退会される方は、退会手続きが必要となりますので、各区班の班長までご連絡をお願いいたします。

平成二十七年

度 定時総会の開催

六月十日(水)開催予定
懇親会も予定しております。
詳細は後日ご案内いたします。

行事イベント案内



配分金支払日

- 四月二十日(月)
- 五月二十日(水)
- 六月十九日(金)

入会説明会(午後一時三十分)

会員の皆さんからも入会の勧誘をお願いいたします。

- 四月九日(木) 十六日(木)
- 二十三日(木)
- 五月十四日(木) 二十一日(木)
- 二十八日(木)
- 六月十一日(木) 十八日(木)
- 二十五日(木)

就業相談日(午後一時三十分)

- (就業に関しての相談です)
- 四月九日(木)
- 五月十四日(木)
- 六月十一日(木)

「めんこいひろば」利用料金と

開設日の変更について

平成二十七年四月からめんこいひろばの利用方法が変わり、事前にチケット(五枚綴り・年度内有効・返金なし)を購入いただき、利用日にめんこいひろばへ提出していただくこととなります。また、日・祝祭日は閉館となりますので、よろしくお願ひします。

チケット料金 ※五枚綴りの料金

- 【短時間保育】
- 平 日:二千円
- 土 曜 日:二千五百円
- 【一日保育】
- 平 日:一万円(六ヶ月〜三歳)、七千四百五十円(四歳〜六歳)
- 土 曜 日:一万二千五百円(六ヶ月〜三歳)、一万円(四歳〜六歳)

【開設日】

月曜日〜土曜日(日・祝祭日は閉館)
※詳しくは事務局、またはめんこいひろば(六三三-六六四六)へお問い合わせください。

訃 報

謹んでご冥福を

お祈り申し上げます

- 門松紀久男さん(七十四歳) (第一地区)
- 原田 康夫さん(七十一歳) (西地区)
- 太田 祐子さん(七十二歳) (滝山二地区)

あ と が き

昨年の「日本人の国民性調査」によると、「人の役に立ちたい」と思う人が半数近くに達したとのこと。
東日本震災のボランティアに参加したときのひとコマ。早朝、指定の場所に五十人ほど集合。大半が若者、シニアは少々驚きだ。バスの中の自己紹介では県外の方が多い。
今回の作業は、側溝と一帯の掃除だ。若者が掃き出したが、掃き続けた為、砂ぼこりが一帯に漂った。シルバーの出番だ。側溝からあがり、箒を借りて静かに土砂の山をいくつもつくった。「後で麻袋に入れるので、小さくまとめたらどうですか」と助言した。
帰りの車中。各自が感想を述べた。私の番となりハチドリの話をした。森が火事になり動物は逃げた。ハチドリは口に水を含んで一滴ずつ火に落とした。動物たちは笑うが、私は私にできることをするだけ、とハチドリは言った。「皆さんも今日はハチドリの心で参加されたものと思います。また、ご一緒しましょう」と終えた。
今後とも役に立つシルバーでありたい。これは全会員の思いだろう。